

図書館だより

平成24年11月8日
矢祭町立内川小学校
学校図書館担当：石井

「読書の秋」を満喫してありますか？

校庭を吹き抜ける秋風も、心なしか冷たく感じられるようになってきました。風によって落ち葉のダンスが見られたり、教室には、もうストーブもあったりと、冬の訪れを感じさせられます。

10月の図書館利用

★貸し出し冊数★ 10月・・・78冊



1人平均冊数・・・4.5冊
総ページ数・・・7684ページ
一人平均ページ数・・・52ページ

10月は、17人で合計78冊、一人平均4.5冊でした。10月は、祝日も多く、3連休前に本の貸し出しを2冊に増やしたこともあり、平均は目標の2倍を上回っていました！学習発表会など行事が多い中たくさんの本を読むことができたようです。1・2年生は『いもとようこのことわざシリーズ』3～6年生は『妖怪ホテルシリーズ』が人気でした。これからたくさんの本と児童の皆さんが出会えるよう、多くの本を紹介したいと思います。

児童のみなさんへ！！

先生たちのオススメ！！

第2回目は、教頭先生と高田先生の本を紹介します！

「教頭先生のおすすめの本のタイトル」

教頭先生のおすすめの本は「学習まんが-日本の歴史」です。小学校5年生の時に先生の家に「日本の歴史」がそろっていて、それを何気なく読み始めました。ふつうのまんがを読んでいる感じで日本の歴史を知ることができたので読書が得意でなかった先生にも十分に読むことができました。教頭先生は、小学校の時にこの本に出会って、歴史が好きになり、社会の先生になったとも言えます。

みなさんも、まんがを
読む気分で「日本の歴史」
を手にとってみませんか。
そして、日本の昔の舞台
をたずねてみましょう。
秋の夜長にぴったりの本
だと思いますよ。

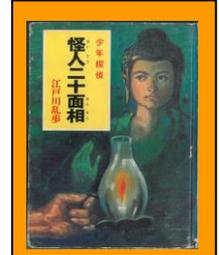


「高田先生のおすすめの本のタイトル」

高田先生が小学生のときによく読んでいた本は、江戸川乱歩という人が書いた「少年探偵団」シリーズです。このお話は、名探偵明智小五郎と怪人二十面相との対決を描いたお話です。怪人二十面相は得意の変装を使って、高価な美術品を盗もうとします。それを防ごうとする明智探偵とその助手の小林少年や少年探偵団たちとのほげしい戦いが見物です。

あれっ？気がついた人いますか？そうです。ここに登場する名前は、アニメ「名探偵コナン」に登場する人に似ていますよね。

(江戸川コナン)と「江戸川乱歩」
「毛利小五郎」と「明智小五郎」など
コナンの作者は、きっとこのお話をモデルにして名前をつけたと思いますよ。ぜひ、読んでみて下さい。



保護者のみなさんへ

先月の『図書だより』でお伝えした、6つのご提案のうち、
③ お子さんのレベルにあった本を与える ④ 家族で図書館に出かける は、少しでも実行できましたでしょうか？

今月も引き続き、③ お子さんのレベルにあった本を与える ④ 家族で図書館に出かける を目標にしていればと思います。11月10日土曜日に『もったいない図書館』で、「家読まつり」と題された「家読おはなし会」が開催されます。キャラバンカーもオープンし、工作教室も行われるそうです。豚汁やおにぎりも用意されているそうですので、ぜひお子さんとお出かけしてみたいはいかがでしょうか？